

【学習の目標と学習方法】

教科の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。(知識及び技能)
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)

**・授業について**  
 \*「アイデアを考える」、「手を動かして作品を作る」「作品鑑賞をして様々なことを感じる」ことを中心とした授業です。主体的に取り組みましょう。

1年生:基礎・基本を学び、表現を広げよう。⇒基礎的な学び  
 2年生:自分の考えを大切に挑戦しよう。⇒挑戦する学び  
 3年生:自分でしっかり考え、表現を深めよう。⇒飛躍を目指す学び。

**・生徒のみなさんへ**  
 \* 授業時数が少ないので、毎時間の授業を大切に、真剣に取り組ましよう。  
 \* 作品や道具、教室の机など物を大切に扱きましょう。  
 \* 提出物に名前がなかったり、期限が守られないと点数がつけられません。作品や提出物をきちんと管理し、忘れ物などが無いようにしましょう。

**・家庭学習について**  
 \* 長期休業中や各学期に課題が出題されます。また、作品制作のためのヒントは日常にあります。日頃から色々なものにアンテナを張り、美術への興味関心を高めてください。

**・試験前はこのような取り組みも**  
 \* 授業で習ったことや教科書、プリントをよく見直そう。

	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	知識	技能	1年 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	1年 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	1・2・3年 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。	1年 ・意図に応じて表現方法を工夫している。  2・3年 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	2・3年 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	2・3年 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価資料	・授業への取組 ・作品 ・定期考査 ・ワークシート			

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1年	色彩の学習、平面構成(10)		クロッキー(4)	鑑賞(1)	夏休み(課題)	絵文字(9)		本物そっくりにつくる(12)		(冬休み) 課題	鑑賞(1)	透視図法(8)	計:45h
2年	鑑賞(2)	金属で作る(10)			夏休み(課題)	絵画を楽しむキーワードから(10)		ピクトグラム(3)	(冬休み) 課題	ポスター・鑑賞(10)			計:35h
3年	鑑賞 修学旅行の美術(2)	～素材を生かした表現～ 木でつくる・石でつくる(10)			夏休み(課題)	心に残る風景(13)				冬休み	鑑賞(2)	座右の銘(8)	計:35h